

あいゆう工房のこれまでと現在の取り組みを紹介

特定非営利活動法人あいゆう

やぎはし としあき

ゼネラルマネージャー八木橋
敏晃

平成14年5月	小規模作業所あいゆう工房開設
平成15年4月	特定非営利活動法人(NPO法人)取得 「特定非営利活動法人あいゆう」
平成16年3月	知的障害者デイサービス事業開設 デイサービスセンター あいゆう
平成18年10月	小規模作業所から地域活動支援センター(Ⅲ型)へ 移行
平成19年4月	地域生活支援事業 日中一時支援事業子開設 日中一時支援事業 オアシス
平成20年4月 型	地域活動支援センターから就労継続支援事業B に移行
平成22年6月	就労継続支援センターあいゆう工房 児童デイサービスセンター事業開設 児童デイサービスセンター ピース
平成26年4月	指定特定相談支援事業開設 相談支援サポートセンターあいゆう

就労継続支援センターあいゆう工房

・就労継続支援B型(非雇用型)

・定 員 20人／1日 (現在25名利用)

・営業日 月曜日～土曜日(祝日も営業)

・住 所 ①板柳町大字館野越字早稻田54-2(旧沿川第二小学校)
※平成18年10月から
②板柳町大字夕顔関字長田34-1(旧沿川第一保育所)
※平成26年4月から

・作業内容 木工作業(塔婆づくり) 野菜栽培(ネギ・ニンニク)
リサイクル作業(古紙・段ボール・銅線)
受託業務(地元の業者・町内会などから業務を受託)

・サービス 送迎サービス 食事サービス(外注弁当) 入浴サービス

・利用料 無料

・工賃額 12.000～19.000円 (24日／月 利用した場合)
(※年2回賞与)

卒業後働く中で大切な事 ～事業所側の立場から～



①無理をしない。疲れたら休む、仕事が休みの日を楽しむ。

※がんばると無理をするのは違います。

②何でも相談する。仕事以外でも困っている事や楽しんでいる事を話しましょう。

※話す事が苦手なら手紙に書いたりなど自分で一番伝えやすい方法を考えましょう。

③目標・ゴールはみんな違います。大切なことはそれを持ち続ける事、必要なステップを自分のペースで上がっていく事。

※就職・一般就労≠ゴールではありません。そこからスタートです。

現場実習を通じて事業所も
変わる



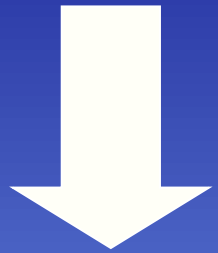
実習生が事業所を利用する事で、私たちは色々な事を考えたり、振り返ります。

- ・「仕事のやり方・伝え方・工程は今のままでいいのかな？」
- ・「仕事や休憩の環境は今のままでいいのかな？」
- ・「どんな仕事を提供すればいいのかな？」

などなど。誰もが利用しやすく、働きやすい場所である事を目指して実習生の活動を通じて振り返ります。そして、何が不足しているか、何を必要としているかを考えます。

それを積み重ねる事で・・・

- ・実習生が働きやすい場所になっていく



と、いうことは・・・

- ・前々からいる利用者にとっても働きやすい場所になっていく

みんなで楽しく働ける場所、楽しく過ごせる場所を作っていく事が出来たらベスト。また、利用者の技術や目標などは常に変わっていきます。それを発見する事、そしてそれに合わせていくことが重要です。

実習は初めて出会う人と仕事をしたり、初めてやる仕事があったりと緊張すると思います……

緊張するのは当然です。なぜなら、実習生が来ると決まると先輩利用者も職員も私も、みんな緊張しています。

でも、それも貴重な体験となります。(実習生も先輩利用者も)お互い緊張しながら、少しずつ慣れていき、将来に向けて頑張りましょう。そして困った事があったら親や先生に相談しましょう。みなさんの為に、良い方法を一緒に考えてくれます。

最後に・・・

実習大変お疲れ様でした。

生徒の皆さん、お疲れ様でした。大変だったと

と思いますが、将来に向けて貴重な体験になったと思います。

保護者・先生の皆様、お疲れ様でした。心配や不安もたくさんあったかと思います。

実習生の頑張りをたくさん評価して上げて下さい。

頑張った事を評価してみんながよろこんでくれることは
本人がこれから社会でいろんな体験をしていく上で極めてたい
せつな事です。これから大切なことです。

これからも、無理をせず自分らしいペースでがんばりましょう。

私たち事業所側も、いろんな努力をして皆さんの実習や就職を
支援していきたいと思います。